



豊岡市地域公共交通網形成計画

概要版



平成 28 年 6 月

豊 岡 市

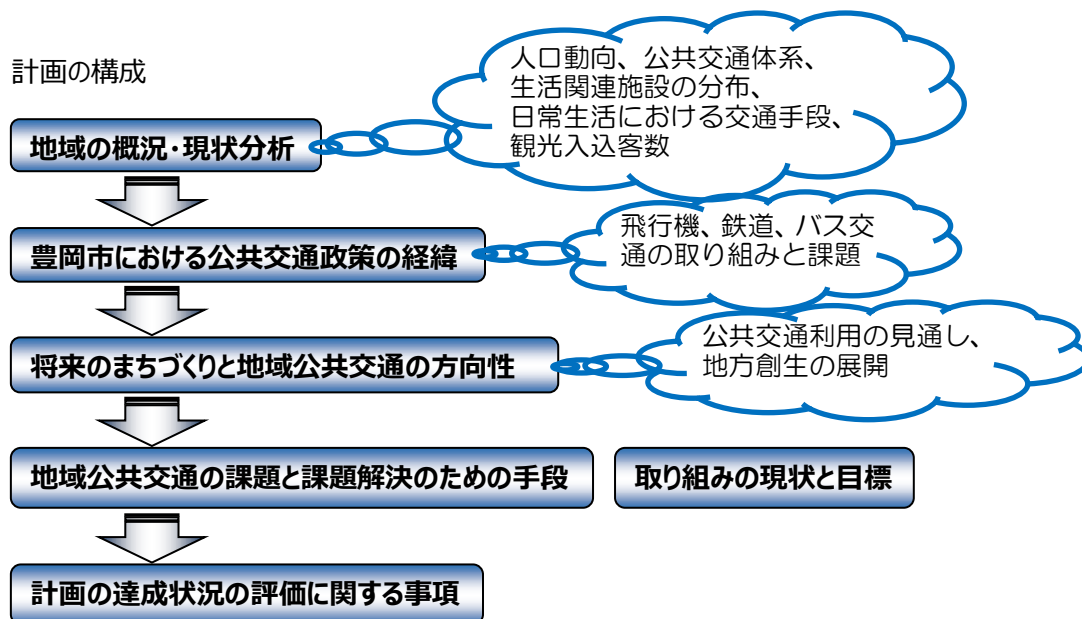
1. 計画策定にあたって

(1) 目的

「交通政策基本法」の制定(平成 25 年 12 月施行)、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の一部改正(平成 26 年 11 月施行)がなされ、まちづくりと連携した持続可能な公共交通ネットワークづくりの取り組みが全国的に進められている。

本市の公共交通を取り巻く状況は、今後も、様々な変化が予測されることから、市として基本的な考え方を整理し、持続可能な公共交通ネットワークの形成を目的として、「豊岡市地域公共交通網形成計画」を策定する。

(2) 計画の構成



(3) 公共交通サービス提供の基本方針

- ◆ 目指すべきは、公共交通を活性化させ、併せて地域を活性化することである。
- ◆ 目指すべきは、公共交通体系を確立するとともに、市民の日常生活に必要な活動機会を確保することである。
- ◆ 目指すべきは、費用対効果を意識しながら、市民の日常生活に必要な公共交通サービスの提供を効率的に行うことである。
- ◆ 目指すべきは、どの地域にも同じ公共交通サービスを提供することではなく、地域特性に応じた公共交通サービスを提供することである。
- ◆ 公共交通サービスの提供にあたっては、それぞれの主体がそれぞれにできること、すべきことを実施する。
- ◆ 都市計画マスタープランに記述する地域拠点から中心拠点を結ぶネットワーク化を図る。

(4) 計画の概要

・策定主体： 豊岡市

・計画の区域： 豊岡市全域

・計画の期間： 平成 28 年度～37 年度までの 10 年間

※平成 28～32 年度までを前期計画、平成 33～37 年度までを後期計画とする

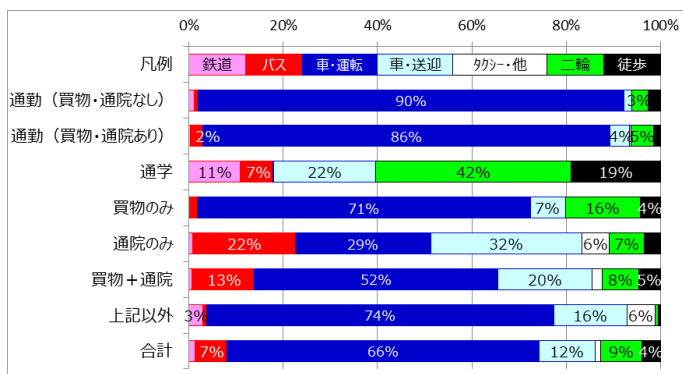
※前期計画終了時に、社会情勢の変化などに伴う計画見直しの要否について検討し、必要に応じて計画の修正を行う。

2. 地域の現状分析

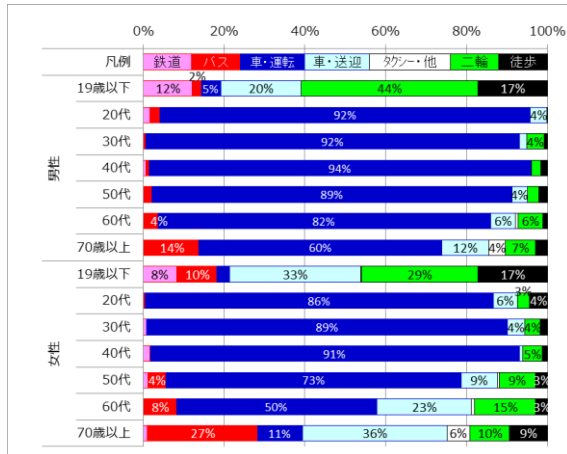
【日常生活における交通手段の利用状況と今後の見通し】

- ・豊岡市では、航空機をはじめ、鉄道、高速バス、路線バス、コミュニティバス、地域主体公共交通により公共交通ネットワークが形成されている。
- ・日常生活においては、自家用車の利用が広く浸透しており、公共交通の利用は、自動車を利用できない高校生（通学）や高齢者（通院、又は通院帰りの買い物）に限られていると考えられる。また、今後は自動車免許を持った後期高齢者(75歳以上)が増加し、交通事故の増加が予想される。

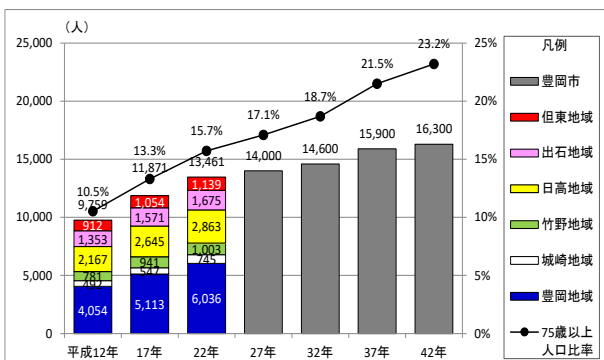
＜外出目的別 交通手段分担率＞



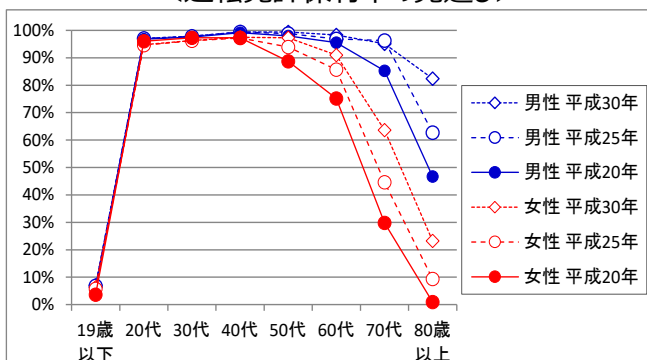
＜性別・年齢階層別 交通手段分担率＞



＜75歳以上人口の動向と将来見通し＞



＜運転免許保有率の見通し＞



3. 将来のまちづくりと地域公共交通の方向性

《公共交通施策に求められるもの》

- ① 公共交通ネットワークの維持・確保 ⇒持続可能な公共交通ネットワークの維持・確保
- ② コウノトリ但馬空港の利用促進と利便性の向上 ⇒東京直行便の早期実現と交流人口の増加
- ③ 鉄道の輸送サービスの向上と利用促進 ⇒輸送サービスの向上
- ④ バス交通の充実と利用促進 ⇒市民ニーズ、地域の実情、市民の活動機会確保対策

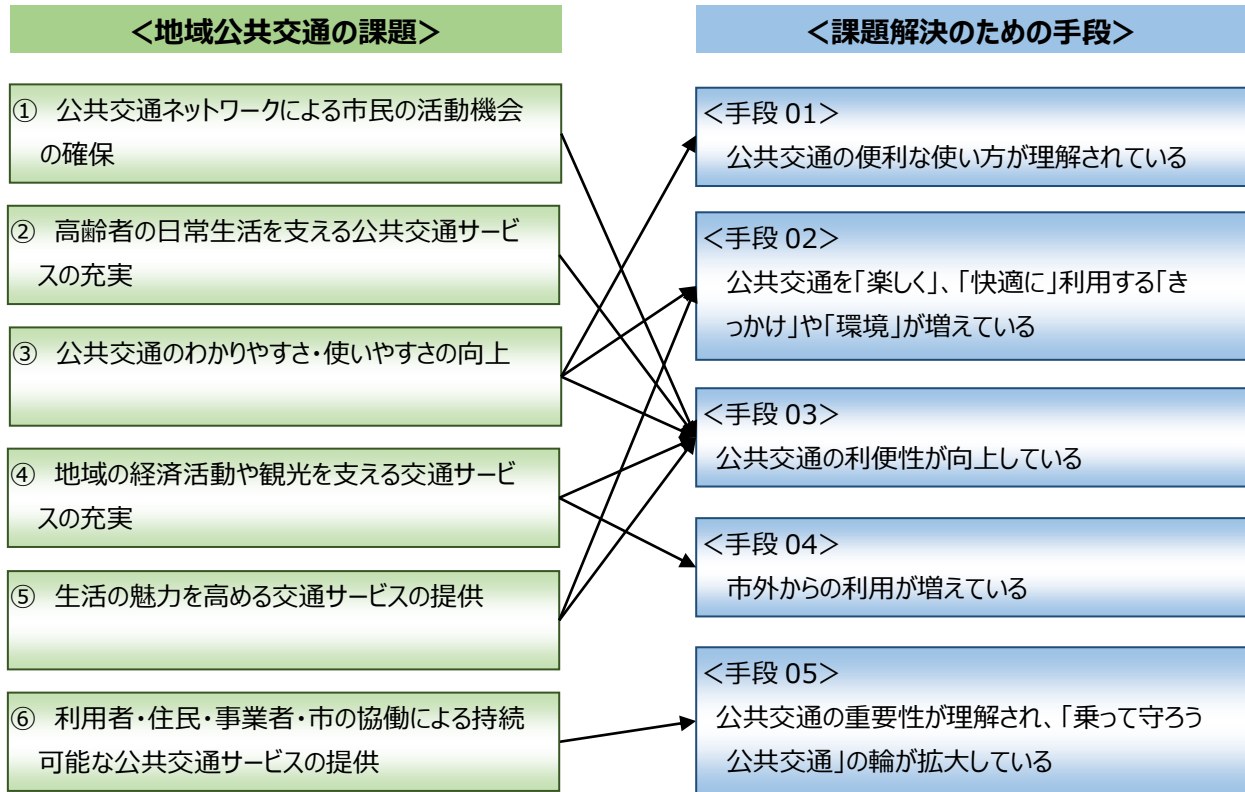
【地方創生総合戦略における公共交通の役割】

公共交通は豊岡市地方創生総合戦略の戦略体系図の中で、『移住・定住促進にかかる戦略』に位置づけられている。

飛行機、鉄道、高速バスなどが域外との移動を担い、交流人口増加の役割を果たすこと、また、路線バス、市街地循環バス「コバス」、市営バス「イナカー」、地域主体公共交通「チクタク」が、生活交通として、豊岡に住む人たちの移動を担う。今後も、関係団体、他部署と密に連携し、地方創生総合戦略に取り組んでいく。

4. 地域公共交通の課題と課題解決のための手段

- ・地域の現状や将来見通しを考え合わせると、豊岡市の地域公共交通の課題として、6つの事項があげられる。
- ・「6つの課題」に対し、課題解決のための手段として、豊岡市が取り組んでいる政策評価重点施策のひとつである『持続可能な公共交通の推進』戦略体系図の二桁手段を「5つの手段」として計画する。



5. 取り組みの現状と目標

(1) 計画の目標と実施スケジュール

手段01) 公共交通の便利な使い方が理解されている														
(目標)														
0101. 路線・ダイヤがわかりやすく案内されている														
0102. 乗り方(運賃の支払い方法など)が案内されている														
0103. 目的に合わせた旅のモデルプランが提供されている														
0104. 利用特典が提供されている														
事業内容	実施主体				実施スケジュール									
	豊岡市	事業者	市民	関係団体	前期			後期						
					H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
0101 公共交通情報「足ナビWEB」の作成	○	○			準備			制作			ダイヤ改正に併せて改正			
0102 列車・バスの乗り方教室 年間3件⇒年間5件	○	○	○	○	随時実施									
0103 運行(航)事業者と行政協働による旅のモデルプラン作成	○	○			随時実施									
0104 健康施策、環境施策との連携事業 年間1事業⇒年間3事業	○		○	○	関係部署と協議し随時実施									
0104 Club ZENTAN加盟店 23店舗⇒40店舗	○	○			店舗に随時募集する									

手段02) 公共交通を「楽しく」、「快適に」利用する「きっかけ」や「環境」が増えている														
(目標)														
0201. ノーマイカーデーなど、公共交通を使うきっかけ(機会)が提供されている														
0202. イベント列車・バスが運行(催行)されている														
0203. 公共交通利用と組み合わせた、楽しい健康づくりメニューがある(健康施策)														
0204. バリアフリー化が進められている														
0205. 待ち時間を快適に過ごせる環境が整備されている														
0206. 車内・機内が快適に乗り合う環境に保たれている														
事業内容	実施主体				実施スケジュール									
	豊岡市	事業者	市民	関係団体	前期			後期						
					H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
0201 豊岡ノーマイカーデー 参加者142人/日⇒200人/日	○	○			全但バスと協議し、随時実施									
0201 乗って帰ろうデー公共交通利用 参加者比率 27.8%⇒50.0%	○	○		○	随時実施									
0202 スイーツバス(仮称)の実施 参加者数100人/日	○	○			関係部署と協議し随時実施									
0203 イナカー+ウォーキング 4路線⇒8路線	○		○	○	随時関係区は実践呼びかけ									
0204 ノンステップ・ワンステップ車両 導入率 68%⇒80%	○	○			計画的に年間2～3台導入 随時更新									
0205 バス待合施設整備数 15件⇒35件	○			○	随時実施									
0205 JR西日本、WILLER TRAINS との協働による駅舎環境整備の 検討・実施	○	○	○	○	随時実施									
0206 (再掲) 列車・バス乗り方教室 年間3校⇒年間5校	○	○			随時実施									
0206 京都丹後鉄道・特急車両のリ ニューアル 2編成改修⇒5編成改修	○	○		○	完成									

手段03) 公共交通の利便性が向上している														
(目標)														
0301. 路線の需供バランスをチェックするシステムが充実している														
0302. 運行(航)便数が増えている														
0303. 定時性・速達性が向上している														
0304. 利用しやすい運賃・旅行商品が設定されている(価格の割引・企画)														
0305. 各モード間の乗継がスムーズにできる環境がある 例) バス⇄鉄道、鉄道⇄自動車 etc														
0306. ボランティア車掌、駅・バス停案内人など、現場での案内手段が充実している														
事業内容	実施主体				実施スケジュール									
	豊岡市	事業者	市民	関係団体	前期			後期						
					H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
0301 バス路線の利用者数チェック、利用 者数にあった路線の検討	○	○			全但バスと協議 検討した路線にて運行開始									
0302 『ターゲット70』を達成し、東京直 行便が実現している	○	○			新型機ATR就航 東京直行便 但馬-羽田路線の展開									

0302 JR山陰線 3 往復 6 便の福知山 停まりを城崎温泉まで延伸	○	○	○	○	関係自治体と協力し JRへ要望	実現	
0302 高速特急バス大阪便2往復4 便、神戸便1往復2便増便 (大阪便) 3往復6便⇒5往復10便 (神戸便) 3往復6便⇒4往復8便	○	○			全但バスと 協議		随時実施
0302 路線バス年間利用者数 166万人⇒170万人	○	○	○				随時実施
0302 コバス 実態調査を加味したルー ト検討	○	○		○	関係機関と 協議		随時実施
0302 イナカー 現行 8 路線の維持	○	○	○				随時実施
0302 チクタク 公共交通空白地有償 運送への転換	○		○		関係機関と 勉強会		随時実施
0303 定時性・速達性確保のための勉 強会	○	○			運行事業 者と勉強会		対応可能路線から随時実施
0304 神鍋高原線バス活性化運行に続 く新たな路線の検討	○	○	○		運行事業・対 象地域と協議	社会実験の実施	活性化運行?
0304 運行(航)事業者と行政協働によ る旅のモデルプラン作成 1 商品⇒ 3 商品	○	○			関係機関と 調整		随時販売
0305 (再掲) 公共交通情報「足ナビWEB」の 作成	○	○			準備	制作	ダイヤ改正に併せて改正
0305 主要駅・主要バス停のサイン検討	○	○	○				随時検討・実施
0306 路線バスに車掌を配置 1 路線	○	○		○	国 協議	社会実験	社会実験の結果を見て実施検討
0306 インフォメーションセンター-sozoro での観光・二次交通の案内	○	○					随時実施

手段04) 市外からの利用が増えている														
(目標) 0401. 観光客に対し便利なモデルプランがあり、提案されている 0402. 地域が認知され興味が高まっている (大交流施策) 0403. 観光施設間の移動方法など、必要な情報がターゲットに届いている (大交流施策) 0404. 魅力ある集客イベントが開催されている (大交流施策)														
事業内容	実施主体				実施スケジュール									
	豊岡市	事業者	市民	関係団体	前期			後期						
					H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
0401 着地型旅行商品の開発・販売 (豊岡版DMOとの連携)	○	○		○	随時開発・実施									
0401 (再掲) 運行(航)事業者と行政協働による旅のモデルプラン作成 1商品⇒3商品	○	○			関係機関と									
0402 大交流(観光)施策と共同で事業を展開 年1-2事業⇒年3-4事業	○				随時実施									
0402 関東・京阪神において豊岡認知度アップイベントの実施 年1事業⇒年2事業	○	○			随時実施									
0403 (再掲) 公共交通情報「足ナビWEB」の作成	○	○			準備制作			ダイヤ改正に併せて改正						
0404 各観光協会が主体のイベントに対し、公共交通の参画を検討	○			○	随時検討・実施									

手段05) 公共交通の重要性が理解され、「乗って守ろう公共交通」の輪が拡大している														
(目標) 0501. 公共交通と自動車のスマートでカッコいい使い方が理解されている 0502. 公共交通の現状に関する勉強会が開催されている 0503. 公共交通に体験乗車する機会が増えている 0504. e通勤・通学を促進する制度が充実している 0505. 地域で公共交通を守ろうとする組織(ファンクラブ)が結成されている														
事業内容	実施主体				実施スケジュール									
	豊岡市	事業者	市民	関係団体	前期			後期						
					H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
0501 e通勤プロジェクト参加人数 415人⇒500人	○	○			430人	450人	470人	490人	500人					
0501 豊岡ノーマイカーデー 全但バス 500円フリーチケット売上枚数 年間1,924枚⇒年間2,400枚	○	○			2000枚	2100枚	2200枚	2300枚	2400枚					
0502 市内の学校・団体への出前授業実施 年間5団体	○			○	随時実施				年間5団体					
0503 小学生飛行機遠足の実施 23校⇒25校	○				随時実施				年間25校					

0503 小学生無料航空券利用者数 年間270名⇒350名	○				← 随 時 実 施 →	年間350名
0503 新成人無料航空券利用者数 年間116名⇒150名	○				← 随 時 実 施 →	年間150名
0504 公共交通利用促進イベント 年3回⇒年5回	○	○	○		← 随 時 実 施 →	
0504 高校生通学バス定期補助事業 の実施	○				← 周 知 →	300人
0505 地域で公共交通を守るとする組 織(ファンクラブ)の数 2団体⇒10団体	○		○	○	← 地域への呼びかけ・勉強会 →	10団体

(2) 計画の進行管理と評価・改善の仕組み

- ・本計画は、以下に示す豊岡市地域公共交通活性化協議会の構成団体や関係団体等が推進し、同協議会が進行管理を行う。
- ・また、本計画は、「PDCA サイクル」で実践することとし、10年間の計画期間全体を対象としたサイクルと、各年度の進捗状況を検証するためのサイクルの2つを組み合わせ、継続的な評価・改善に取り組む。

《豊岡市地域公共交通活性化協議会構成団体》

- ・豊岡市 ・全但バス株式会社
- ・日本交通株式会社本社営業所 ・社団法人兵庫県バス協会
- ・社団法人兵庫県タクシー協会但馬部会
- ・西日本旅客鉄道株式会社福知山支社
- ・兵庫県但馬県民局県土整備部 ・豊岡南警察署 ・豊岡北警察署
- ・豊岡市区長連絡協議会 ・豊岡市老人クラブ連合会
- ・豊岡市社会福祉協議会 ・豊岡市女性連絡協議会
- ・豊岡市PTA連合会 ・鳥取大学工学部社会開発システム工学科
- ・国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部
- ・兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課 ・全但バス労働組合